

情報・マネジメント学科
2020年度入学生シラバス

経営学 I -A

授業期間：1年次 4月～7月
単位・時間数：4単位・60時間
担当者：工藤 貴子（実務経験者）

（職務内容）

複数の企業で勤務経験があり、商品企画やOEM企画などの企画業務を10年間、また、百貨店でマーチャンダイザー職を2年間担当

（指導内容）

企業の商品企画の現場体験を活かし具体的な経営事例を示しながら授業を行う。

講義の目的および概要

会社の基本的なしくみや会社の成長に必要なこと、マーケティングや経営手法の基礎を学ぶ

リテールマーケティング検定対策として、生産と消費を結びつける流通の仕組みや流通業界の概要を学び、小売市場経済の仕組みを学ぶ。

講義方法：

経済については、テキストに基づき経営の基礎知識を学び、日経新聞の記事を用い、最新の経営手法の事例について実践的に学ぶ

授業計画

1. オリエンテーション 経営学とは
2. 会社経営の基本
3. 経営計画
4. 企業組織
5. マーケティングと生産管理
6. 経営分析
7. 経営の情報化
8. 経営環境
9. 流通業界について
10. 小売業の基本的役割
11. 商業集積の基本
12. 流通と小売業の役割
13. 組織形態別小売業の運営特性
14. 店舗形態別小売業の運営特性
15. 中小小売業の課題と商業集積の方向性

到達目標：

授業で取り上げた経済現象、問題について自分の意見を述べることができる。

市場メカニズムの働きについて理解し、説明することができる。

目標検定・受験時期

リテールマーケティング検定3級 2月

試験・成績評価：

- | | |
|-------------|-----|
| 1.定期試験 | 50% |
| 2.授業内レポート提出 | 30% |
| 3.出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト

・わかる経営のしくみ ダイヤモンド社

参考文献

・販売士ハンドブック カリアック

学習を行うにあたり

新聞等で報道される経済問題や企業動向を把握し、現代企業が生き残りをかけてどのような戦略的行動をとろうとしているのかに興味を持って欲しい。

経営学 I -B

授業期間：1年次 1～2月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：徳田 智恵子

講義の目的および概要
組織を効率的かつ効果的に運営していくための経営管理の基礎知識を習得する。

*リテールマーケティング検定「販売・経営管理」科目

講義方法：
小売店を運営するために必要な、作業割当や売場計数管理の知識を習得する。

授業計画

1. 販売員の役割の基本
2. 販売員の法令知識
3. 小売業の計数管理
4. 店舗管理の基本

到達目標：
売場で使用する計数能力を習得する。

目標検定・受験時期
リテールマーケティング検定3級 2月

試験・成績評価：
1.定期試験・検定試験 50%
2.授業内テスト 30%
3.出席状況・授業態度 20%

テキスト
講師独自の資料
授業内レポートを配布授業ごとに提出する。

参考文献
販売士ハンドブック カリアック

学習に行うにあたり
計算機を使用するので用意すること。

マーチャングイザ -A

授業期間：1年次 10月～2月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：徳田 智恵子

講義の目的および概要
商品の基本知識から商品計画や販売計画、販売戦略などをどのように立案するのか、マーチャングイザの仕組みを習得する。

*リテールマーケティング検定
「マーチャングイザ」科目検定対策

講義方法：
リテールマーケティング検定3級及び、検定問題集を通じて講義と演習を行う。

授業計画

1. ガイダンス 商品の基本
2. マーチャングイザの基本
3. 商品計画の基本
4. 販売計画および仕入計画などの基本
5. 価格設定の基本
6. 在庫管理の基本
7. 販売管理の基本

到達目標：
マーケティングの基本的な考え方や流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解している。

目標検定・受験時期
リテールマーケティング検定3級 2月

試験・成績評価：
1.定期試験・検定試験 50%
2.授業内テスト 30%
3.出席状況・授業態度 20%

テキスト
・販売士3級ハンドブック カリアック
・1回で合格！販売士検定3級過去問題集 成美堂出版

参考文献
必要に応じてプリント配布

学習に行うにあたり
・普段の生活で小売業に対して関心を持ち、講義で得た知識を実際に確かめること。
・計算機使用

マーチャングイザ -B

授業期間：1年次 4月～10月

単位・時間数：3単位・45時間

担当者：工藤 貴子（実務経験者）

（職務内容）

複数の企業で勤務経験があり、商品企画やOEM企画などの企画業務を10年間、また、百貨店でマーチャンダイザー職を2年間担当

（指導内容）

企業の商品企画のためのマーケティング活動について実践的に指導する。

講義の目的および概要

市場のしくみを学び、マーケティングの基礎を習得する。サービス業をはじめ、多くの企業で顧客満足やサービスの質が重視される昨今、業種や店舗形態による品揃え、人的サービス、販売促進の実態を調査、分析を行う。

*リテールマーケティング検定「マーケティング」科目

講義方法：

市場のしくみを学習したのち、調査フォーマットに基づき調査を実施し、PCを使用したレポートを提出。プレゼンテーションを実施する。*レポートのまとめにはPC使用

授業計画

1. ガイダンス 経済とマーケティングの役割
2. マーケティング意義と実践方法
3. CS顧客満足
4. 商圈について
5. 消費者視点のミクロ分析
6. 札幌市の概要と歴史
7. マーケットリサーチの基本知識
8. ポジショニング分析
9. 価格調査
10. 広告について
11. レポート作成とプレゼンテーション

到達目標：

市場のしくみを理解し、業種や店舗形態による品揃え、人的サービス、販売促進の実態を理解する。

目標検定・受験時期

特になし

試験・成績評価：

1. 提出課題とプレゼンテーション50%
2. 授業内レポート 30%
3. 出席状況・授業態度20%

テキスト

- ・独自の資料をパワーポイントのスライドを使って行う。
- ・授業内レポートを配布授業ごとに提出する。

参考文献

- ・販売士3級ハンドブック カリアック

学習に行うにあたり

店舗リサーチにおいては、実施内容を把握して調査にあたること。理由なく授業を欠席し授業内容を理解してい

ない学生については実習を許可しない場合がある。交通費は、各自負担とする。

ストアオペレーション-A

授業期間：1年次 4月～10月
単位・時間数：3単位・45時間
担当者：若杉 恭子（実務経験者）

（職務内容）

百貨店コーナーのディスプレイ指導、道内専門店の指導担当（6年6か月）、販売促進部チーフコーディネーターとして店舗・売場の装飾計画及び実施を担当（3年8か月）、ソフトライン営業本部ディスプレイヤーとしてディスプレイ計画と指導、社員教育を担当（7年間）

（指導内容）

ストアオペレーションの科目で店舗管理の基礎を知識と技術演習を通して指導する。

講義の目的および概要

店舗運営のための業務やディスプレイ、ラッピング技術と、小売業に関する法令知識計数管理の基本を習得する
＊リテールマーケティング検定「ストアオペレーション」科目

講義方法：

リテールマーケティング検定 3 級及び、検定問題集を通じて講義と演習を行う。

授業計画

1. ガイダンス
2. ストアオペレーションの基本
（クリンリネス・レジ・補充発注）
3. 包装技術 1 （和式進物マナー）
4. 包装技術 2 （包装実習）
5. ディスプレイの基本1 （目的と役割）
6. ディスプレイの基本2 （基本的パターン）
7. ディスプレイの基本3 （店舗見学）
8. 店舗の色彩管理1 （商品コーディネート）
9. 店舗の色彩管理2 （店舗照明と色彩）

到達目標：

小売店舗の日常業務に必要な知識と技術を習得し、販売担当として必要な知識・技術を身につけた人材を目指す。

目標検定・受験時期

リテールマーケティング3級 2月

成績評価：

1. 定期試験 60%
2. 提出課題 30%
3. 出席状況・授業態度 10%

テキスト

- ・販売士3級ハンドブック カリアック
- ・1回で合格！販売士検定3級過去問題集 成美堂出版

学習に行うにあたり

検定の知識だけでなく、顧客満足のために必要な店舗運営について関心を持ち、日頃より実店舗のとりくみについても関心を持ち視察をすること。

- ・計算機使用

ストアオペレーション-B

授業期間：1年次 9月～12月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：工藤 貴子（実務経験者）

（職務内容）

複数の企業で勤務経験があり、商品企画やOEM企画などの企画業務を10年間、また、百貨店でマーチャンダイザー職を2年間担当

（指導内容）

売上効率の良い売場づくりや販促活動について指導する。

講義の目的および概要

売上効率のよい売場運営のためのシステムを理解し、構築するための知識と技術を習得する。

講義方法：

ストアマネジャーソフト（日本総合システム）を使用した、売上効率の良い売場づくりや販促活動を講義、演習を繰り返し習得していく。

＊PC使用授業

授業計画

1. 売場づくりの必要性
2. 商品と発注システムについて
3. POSデータの活用
4. カテゴリーマネジメント
5. 棚割システムについて
6. スーパーの売場特性について
7. ドラッグストアの売場特性
8. 棚割の作成
9. 棚割りとプロモーション
10. セールスプランについて
11. プロモーションプランについて
12. プレゼンテーション

到達目標：

セールスプランに合わせて、売上利益があがる棚割りやプロモーションの実施を行うことができる。

目標検定・受験時期

成績評価：

1. 提出課題とプレゼンテーション 50%
2. 授業内レポート 30%
3. 出席状況・授業態度 20%

テキスト

棚割システム活用法 商業界

学習に行うにあたり

店舗リサーチにおいては、実施内容を把握して調査にあたること。理由なく授業を欠席し授業内容を理解していない学生については実習を許可しない場合がある。

商業簿記

授業期間：1年次 4月～11月
単位・時間数：10単位・150時間
担当者：徳田 智恵子

講義の目的および概要

日本商工会議所主催「簿記検定3級」の取得に向けて、職種を問わずビジネスパーソンに必須の基礎知識とされる商業簿記の基本を学びます。

講義方法：

テキストと問題集を中心に、商業簿記の基本を習得し、演習問題を通して資格取得に向けた力をつけます。

授業計画

1. ガイダンス（全3回）
2. 簿記の基礎（全12回）
3. 期中取引の仕訳・電卓検定試験対策（全30回）
4. 決算（1）決算整理（全10回）
5. 決算（2）精算表（全15回）
6. 決算（3）帳簿の締め切り（全5回）
7. 決算（4）損益計算書と貸借対照表の作成（全10回）
8. 伝票（全5回）
9. 日商簿記3級試験対策（全60回）

到達目標：

簿記の基本から決算まで学び、小売業における会計処理及び日商簿記検定3級合格を目指します。

目標検定・受験時期

全国経理学校協会電卓計算能力検定試験3級以上 7月
日本商工会議所簿記検定3級 11月

成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 60% |
| 2. 確認テスト他 | 20% |
| 3. 出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト・参考文献

テキスト

- 「日商簿記ゼミ 3級 教本」（実教出版）
「日商簿記ゼミ 3級 問題演習」（実教出版）
「よく分かる簿記シリーズ 合格するための過去問題集」（TAC 出版）

学習に行うにあたり

- ・電卓での計算を習得しておくこと。

コンピュータシステム-A

授業期間：1年次 4月～11月
単位・時間数：8単位・120時間
担当者：金子 義之
汐川 春希

講義の目的および概要

IT社会で仕事をしていく上で必要となるITに関する知識を学ぶ。

情報処理技術者試験「ITパスポート試験」の取得に向けて、コンピュータシステムに関する基礎的な知識（ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、システム開発など）について学びます。

講義方法：

テキストを中心に、情報技術全般について学び、各單元ごとの確認テストを通して習熟度を上げていきます。

授業計画

1. ハードウェア
2. ソフトウェアとマルチメディア
3. システム構成
4. データベース
5. ネットワーク
6. 情報セキュリティ
7. アルゴリズムとプログラミング
8. システム開発技術
9. マネジメント
10. まとめ

到達目標：

- ・コンピュータシステムは、コンピュータだけでなく、いろいろなシステムを組み合わせでできた体系的なシステムである事を理解し、システムの基本的な構成要素（ハードウェア、ソフトウェア、インターネットなど）についての知識を理解している。
- ・セキュリティに関する基本知識を有しており、コンピュータシステムのセキュリティ対策を理解している。

目標検定・受験時期

職業教育・キャリア教育財団主催
情報処理活用試験2級 9月
情報処理技術者試験「ITパスポート試験」 12月

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 60% |
| 2. 授業内テスト | 20% |
| 3. 授業態度・出席状況 | 20% |

テキスト・参考文献

- 身につく！合格！ITパスポート
インフォテック・サーブ
身につく！合格！ITパスポート サブノート
インフォテック・サーブ
ITパスポート試験問題集 インフォテック・サーブ

学習に行うにあたり

- ・インターネット・雑誌・ニュース記事などで、コンピュータに関連する情報を得ること

コンピュータシステム-B

授業期間：1年次 4月～7月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：岩上 謙二

講義の目的および概要

プログラミングの基礎知識となる基本的なアルゴリズム（処理手順）を学ぶことで、論理的な思考を養う。

講義方法：

基本的なアルゴリズムを学びます。学んだアルゴリズムが実際にコンピュータ上でどのように動作するか、実行結果を確認します。

授業計画

1. アルゴリズムの基礎
2. フローチャートについて
3. プログラミング言語のいろいろ
4. アルゴリズムの基本形
5. 変数と配列の特徴
6. 合計、平均のアルゴリズム
7. 最大値、最小値のアルゴリズム
8. データ探索法のアルゴリズム
9. データの並び替えのアルゴリズム
10. プログラミング演習

到達目標：

プログラミングに触れ、その初歩的な概念と仕組みを理解する。アルゴリズムの学習を通して、物事を論理的に思考し、プログラミングの手順を習得します。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 60% |
| 2. 提出物 | 20% |
| 3. 授業態度・出席状況 | 20% |

テキスト・参考文献

テキスト

アルゴリズムを、はじめよう インプレスジャパン

学習に行うにあたり

AIやロボットは全て人間が記述するプログラミングで動いているということを念頭に置き、関心を持って取り組むこと。

コンピュータ演習もありますので、操作方法や課題内容などについての説明をしっかりと聞き、理解すること。理解できない時は、すぐに質問すること。操作方法や課題の内容を理解しないと授業についていけなくなります。

IT 戦略とマネジメント-A

授業期間：1年次 5月～11月
単位・時間数：6単位・90時間
担当者：友兼 昭

講義の目的および概要

IT社会で仕事をしていく上で必要となるITに関する知識を学ぶ。

情報処理技術者試験「ITパスポート試験」の取得に向けて、情報戦略と経営全般に関する基礎知識（企業と法務、経営全般）及びプロジェクトマネジメントなど、ITを活用する上で前提となる知識について学びます。

講義方法：

テキストを中心に、経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般に関する知識など、幅広い分野の知識について学び、各單元ごとに確認テストを行い、習熟度を上げていきます。

授業計画

1. 会社の仕組み
2. 企業と法務
3. 経営戦略
4. システム戦略
5. まとめ

到達目標：

情報処理技術者試験「ITパスポート試験」ストラテジ・マネジメント分野の習得

目標検定・受験時期

職業教育・キャリア教育財団主催

情報処理活用試験2級 9月

情報処理技術者試験「ITパスポート試験」 12月

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 50% |
| 2. 授業内小テスト | 30% |
| 3. 授業態度・出席状況 | 20% |

テキスト・参考文献

身につく！合格！ITパスポート

インフォテック・サーブ

身につく！合格！ITパスポート サブノート

インフォテック・サーブ

ITパスポート試験問題集

インフォテック・サーブ

参考文献

学習に行うにあたり

- ・インターネット・雑誌・ニュース記事などで、コンピュータに関連する情報を得ること。
- ・検定試験3週間前より放課後に講習会を行います。

IT 戦略とマネジメント-B

授業期間：1 年次 9 月～12 月
単位・時間数：2 単位・30 時間
担当者：汐川 春希

講義の目的および概要

ネットワークシステムのしくみと、Web ページを構成する HTML の基本構造やタグ要素を理解する。
コンピュータネットワークを利用する際の倫理・モラル・ネチケットを学ぶと同時にネットワークに関する法律に触れ、ネットワーク上における常識を習得する。

講義方法：

テキストを中心に講義を行い、PC を使用した Web ページ制作演習を行う。

授業計画

1. オリエンテーション
2. タグの基本と改行
3. 見出しと段落
4. 文字の装飾
5. 画像の掲載
6. リンクの作成
7. CSS の基本
8. CSS の応用
9. CSS のまとめ
10. 表の作成
11. リストの作成と活用
12. ページレイアウトの作成
13. CSS ファイルの活用
14. インラインフレームの作成
15. フォームの作成

到達目標：

- Web サイトや情報セキュリティに関する基本的な知識と構造を理解する
- HTML 言語を利用した Web ページを作成できる
- CSS を利用して Web ページのレイアウトなどの体裁を整える手法を理解する

試験・成績評価：

1. 定期試験 50%
2. 授業内小課題 30%
3. 授業態度・出席状況 20%

テキスト・参考文献

情報演習35 ステップ30
HTML 5 & CSS 3 ワークブック株式会社カドカワ

学習を行うにあたり

- 授業開始時には、ログインした状態にしておくこと。
- 実習中、操作の説明・課題内容の指示を行います。しっかり話を聞くようにしてください。

情報総合演習

授業期間：1 年次 11 月～12 月
単位・時間数：3 単位・45 時間
担当者：汐川 春希

講義の目的および概要

情報処理技術者試験「IT パスポート試験」ならびに J 検 1 級の取得に向けて、試験問題の出題傾向を把握するとともに、演習問題を通して、合格レベルまで習熟度を上げていきます。

講義方法：

IT パスポート試験問題集と e-learning を利用して、数多くの演習問題を解くことで、知識の習熟度を高めていきます。

授業計画

1. IT パスポート試験問題演習① (全4回)
2. IT パスポート試験問題演習② (全4回)
3. IT パスポート試験問題演習③ (全4回)
4. IT パスポート試験問題演習④ (全4回)
5. IT パスポート試験問題演習⑤ (全4回)
6. IT パスポート試験問題演習⑥ (全4回)
7. IT パスポート試験問題演習⑦ (全4回)
8. IT パスポート試験問題演習⑧ (全4回)
9. IT パスポート試験問題演習⑨ (全4回)
10. IT パスポート試験問題演習⑩ (全4回)
11. IT パスポート試験問題演習⑪ (全2回)
12. IT パスポート試験問題演習⑫ (全2回)

到達目標：

情報処理技術者試験「IT パスポート試験」と情報活用試験 J 検 1 級の取得

目標検定・受験時期

情報処理技術者試験「IT パスポート試験」 12 月

試験・成績評価：

1. 定期テスト 50%
2. 授業内テスト 30%
3. 出席状況・授業態度 20%

テキスト・参考文献

テキスト

学習を行うにあたり

- テキスト・インターネット教材の演習問題を繰り返し学習すること
- インターネット・雑誌・ニュース記事などで、コンピュータに関連する情報を得ること

時事経済Ⅰ

授業期間：1年次 10月～2月

単位・時間数：1単位・15時間

担当者：日下部 憲和

講義の目的および概要

新聞記事やインターネットの情報をリアルタイムな教材として扱い、現代社会の諸問題を徹底的に分析・検証する。自ら情報を集め、自分の頭で日本経済の現状（景気動向）を考えられるようになることを目的とする。また、札幌商工会議所のセミナー、イベントに参加し地域の経済活動について理解する。

講義方法：

テーマを設定した、グループディスカッションや、レポート提出プレゼンによる発表を通し、現代社会が抱えている問題点について正しく理解することができ、自分の意見をきちんとプレゼンできる技術を習得する。

授業計画

1. ガイダンス（新聞の読み方）
2. 社会面の分析
3. 経済面の分析
4. 文化面の分析
5. 社説の分析
6. コラムの分析
7. メディアによる違い
8. 札幌商工会議所との連携授業

到達目標：

読解力・分析力・プレゼン発信力・そして論述力の技法をマスターする。

目標検定・受験時期

成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 70% |
| 2. 課題 | 10% |
| 3. 授業態度・出席状況 | 20% |

テキスト・参考文献

北海道新聞 日本経済新聞 他

学習に行うにあたり

日頃より、新聞やニュースを読む習慣をつけ必要な情報収集を行うこと。積極的にイベントやセミナーに参加して見聞を広めること。

上級オフィスソフト演習Ⅰ（前半）

授業期間：1年次 4月～7月（前半）

単位・時間数：4単位・60時間

担当者：笹森 由美子（実務経験者）

（職務内容）

情報処理関連企業でプログラマとして、プログラム開発業務に従事

（指導内容）

広く情報処理及び情報技術を活用できる基礎的・基本的な知識とワープロ、エクセル、データベースなどのアプリケーションソフトを通じて、検定取得を目指した指導をする。

講義の目的および概要：

実社会においてコンピュータは必要不可欠なツールの一つです。アプリケーションソフトの Word と Excel を使用して基本の機能と操作方法を学び、基礎知識を身につけます。Excel は表計算検定 3 級の資格取得を目指します。

講義方法：

Word は、正確な文字入力の向上と基本の文書作成に必要な機能や編集などコンピュータ操作を通して習得します。Excel は、3 級検定範囲に必要な基本の関数や機能などテキストを中心に学び、さまざまな練習問題を反復することで知識を確実なものにします。

授業計画：

（Word）

1. 入力の基本（短文入力 ファンクションキーの使いかたなど）
2. 文書の編集（文字の訂正 範囲指定 書式設定など）
3. ビジネス文書の作成（ビジネス文章の構成要素 印刷など）
4. 表の作成（表の挿入 表の変更 結合 分割など）
5. 印刷（ページ設定 余白・行数の設定など）

（Excel）

1. 四則演算 罫線 書式設定
2. 関数（SUM AVERAGE MAX MIN COUNT など）
3. グラフ（挿入 変更 編集など）
4. データベース（並べ替え 抽出・オートフィルターの設定など）
5. 印刷機能（ページ設定 印刷範囲 ヘッダー・フッターなど）
6. 検定対策演習（問題を反復練習）

到達目標：

Word は、入力の向上とさまざまな文書の作成方法を身につけます。Excel は、サーティファイ表計算検定 3 級の取得を目指します。

目標検定・受験時期：

サーティファイ表計算検定試験 3 級（6月）

日検ワープロ検定試験 3 級以上（6月：任意受験）

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 試験その他 | 50% |
| 2. 提出物及び小テスト | 30% |
| 3. 平常点その他 | 20% |

テキスト・参考文献：

「ワードの基礎&応用」（CAオリジナル教材）

「エクセルの基礎」（CAオリジナル教材）

「日本語ワープロ模擬問題集 1 級～3 級」

（日本情報処理検定協会）

「表計算検定 3 級問題集」（サーティファイ）

学習を行うにあたり

- ・授業でわからないことをそのままにしないこと。
- ・予習よりも復習を行い、知識を確かなものにする。
- ・欠席した授業の課題を提出すること。

上級オフィスソフト演習Ⅰ（後半）

授業期間：1年次 7月～2月（後半）

単位・時間数：6単位・90時間

担当者：笹森 由美子（実務経験者）

（職務内容）

情報処理関連企業でプログラマとして、プログラム開発業務に従事

（指導内容）

広く情報処理及び情報技術を活用できる基礎的・基本的な知識とワープロ、エクセル、データベースなどのアプリケーションソフトを通じて、検定取得を目指した指導をする。

講義の目的および概要：

Word は応用機能まで習得し、ワープロ検定3級以上の資格取得を目指します。Excel は応用知識について学び、表計算検定2級・1級の資格取得を目指します。

講義方法：

Word、Excelともに応用機能をテキスト中心に学び、さまざまな練習問題を反復することで知識を確実なものにします。さらに、表計算2・1級の検定対策を通して実務で役立つExcelの活用技術を学びます。

授業計画：

（Word）

1. 表の作成（応用機能など）
2. 図形の作成（図形の作成 編集 文字挿入 グループ化など）
3. 検定対策演習（各級ごとに問題を反復練習）

（Excel）

1. グラフ（複合グラフ 3-Dグラフ データの追加など）
2. 関数（入れ子 論理関数 統計関数 日付の関数など）
3. 入力規則 条件付書式 シートの保護
4. ピボットテーブル（挿入 変更 グラフの作成など）
5. 統合 ゴールシーク ソルバー機能 配列
6. マクロ（作成 実行 登録など）
7. 検定対策演習（問題を反復練習）

到達目標：

日検ワープロ検定3級以上の取得を目指します。
サーティファイ表計算検定2・1級の取得を目指します。
また、さまざまな応用機能を学び、実務につながる応用力を身につけます。

目標検定・受験時期：

日検ワープロ検定3級以上（12月）

サーティファイ表計算検定試験2級（10月）

サーティファイ表計算検定試験1級（2月）

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 試験その他 | 50% |
| 2. 提出物及び小テスト | 30% |
| 3. 平常点その他 | 20% |

テキスト・参考文献：

「エクセルの応用」（CAオリジナル教材）

「日本語ワープロ模擬問題集1級～3級」

（日本情報処理検定協会）

「表計算検定1・2級問題集」（サーティファイ）

学習を行うにあたり

- 授業でわからないことをそのままにしないこと。
- 予習よりも復習を行い、知識を確かなものにする。
- 欠席した授業の課題を提出すること。

販売士演習 I - A

授業期間：1 年次 1～2月
単位・時間数：1 単位・15 単位
担当者：徳田 智恵子

講義の目的および概要

業種・業態に関わらず、小売・流通業の成り立ちや商品政策（マーチャンダイジング）から、店舗運営、マーケティングまで、販売に関する小売業

講義方法：

過去問題集やプリント教材を使用し、答案練習・解答解説を行う

授業計画

1. 小売業の種類①答案練習・解答解説
2. 小売業の種類②答案練習・解答解説
3. マーチャンダイジング①答案練習・解答解説
4. マーチャンダイジング②答案練習・解答解説
5. ストアオペレーション①答案練習・解答解説
6. ストアオペレーション②答案練習・解答解説
7. マーケティング ①答案練習・解答解説
8. マーケティング ②答案練習・解答解説
9. 販売・経営管理 ①答案練習・解答解説
10. 販売・経営管理 ②答案練習・解答解説
11. 検定対策（苦手な科目に重点を重点的に復習）
12. 検定対策（苦手な科目に重点を重点的に復習）
13. 本番同様、通し答案練習
14. 本番同様、通し答案練習
15. 本番同様、通し答案練習

到達目標：

小売業の運営の仕組みを理解し、販売員としての基本的な知識を身に付け、リテールマーケティング（販売士）検定 3 級合格を目指す。

目標検定・受験時期

リテールマーケティング 3 級 2 月

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 演習課題 | 60% |
| 2. 小テスト | 20% |
| 3. 出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト・参考文献

「レクチャー&トレーニング 日商リテールマーケティング（販売士）
検定試験 3 級」（実教出版）
「1 回で合格！販売士検定 3 級過去問題集」（成美堂出版）

学習に行うにあたり

リテールマーケティング検定範囲の知識を身に付けておくこと。

販売士演習 I - B

授業期間：1 年次 1 月～2月
単位・時間数：1 単位・15 時間
担当者：工藤 貴子（実務経験者）

（職務内容）

複数の企業で勤務経験があり、商品企画や OEM 企画などの企画業務を 10 年間、また、百貨店でマーチャンダイザー職を 2 年間担当

（指導内容）

商品企画の企画書に必要な CG スキルを指導する。

講義の目的および概要

Photoshop と Illustrator の使い方を習得しながら、デジタルコンテンツの制作手法を学びつつ、デザインにおけるプレゼンテーションツールの作成に必要な知識と技能を学びます。

講義方法：

グラフィックソフトの基本操作レクチャーと演習課題の制作。

授業計画

1. ガイダンス
2. Illustrator の基本操作（パスの操作）
3. Illustrator の基本操作（図形とパスファインダー）
4. Illustrator の基本操作（文字の操作）
5. Illustrator の基本操作（基本操作の確認テスト）
6. Photoshop の基本操作（画像の選択とトリミング）
7. Photoshop の基本操作（画像の選択とフィルタ効果）

到達目標：

グラフィックソフトを使用した実習により、デジタルデザインワークの基礎知識・応用力を習得し販売資料として活用できる。

目標検定・受験時期

特になし

試験・成績評価：

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. 定期テスト（実技・学科） | 50% |
| 2. 授業内課題 | 30% |
| 3. 出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト・参考文献

講師独自の資料をパワーポイントのスライドを使って行う。スライド資料をテキストとして配布

学習に行うにあたり

・授業時間の前半で操作についてのレクチャーを行うため、遅刻欠席すると演習課題を行うことが困難となる。課題を実践することで技術習得となるため、遅刻欠席の無いように受講すること。

文章表現法

授業期間：1年次 4月～2月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：大西 博士

講義の目的および概要

正確で表現力豊かな文章を理解して作成する。何のために書くのか、文章の機能や目的を意識させ、文書処理に必要な語彙力を強化する。また、インターンシップや就職活動で大切になる文章読解・自己PR文・礼状の書き方について学ぶ。

講義方法：

テキスト、課題作成

授業計画

「書く力」をつける

1. 書き表し方の漢字に注目
2. 書き表し方の句読点に注目
3. 和語・漢語・外来語
4. 言葉のグループ認識
5. 推敲の習慣
6. 種々の別表現
7. 改まった表現
8. 自己PR文の書き方
9. 礼状の書き方
10. 手紙のマナー

「話す力」をつける

1. 挨拶、自己紹介（プロフィール）
 2. 改まった話し方
 3. 敬語の使い方
- 「伝える力」をつける
1. 話を聞く（傾聴）
 2. キーワードを説明（定義）する
 3. 根拠と出典を示す
 4. 表・グラフを読む・描く

到達目標：

社会人として基本的な知識、表現力、書く、話す力、読む力を身に付ける

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 試験 | 40% |
| 2. 課題 | 40% |
| 3. 出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト・参考文献

1. 日本語表現とコミュニケーション 実教出版
 2. 漢字検定3級ピタリ予想模試 増進堂
- 上記以外にプリント配布

学習に行うにあたり

普段の生活を送る中で出会う文書表現に注目して意識を高める。漢字の意味と読み書きができるよう事前学習をすること

マナー教育

授業期間：1年次 4月～7月
単位・時間数：1単位・15時間
担当者：江口 ちひろ（実務経験者）

（職務内容）

企業や病院で働く方達へマナーやコミュニケーションについての研修に従事（12年間）

（指導内容）

接遇やコミュニケーションのワークを通じて、社会人になるための必要な基本のマナーを指導する。

講義の目的および概要

学生や社会人にとって必要な礼儀やマナーを学び、人間力を高める。学校内外でのコミュニケーションを円滑にし、相手との信頼関係を築くためのマナーを身に付ける

講義方法：

プリントならびに実技演習を通して身に付ける。

授業計画

1. マナーとは・自己紹介
2. 第一印象の重要性・好印象の挨拶
2. 身だしなみ・立ち居振る舞い（お辞儀）
3. 学生と社会人の違い
4. 社会人になるための基本要件
5. チームワークのためのマナー
6. 言葉遣いの基本
7. 間違いやすい言葉遣い
8. 社会人の訪問マナー
9. 分かりやすい話し方
10. 電話対応の基本（名乗り方・受け方）
11. 電話対応の基本（かけ方）
12. 話の聴き方・質問の仕方
13. 報告・連絡・相談の基本
14. 信頼関係を作るための表現法

到達目標：

日常生活で実践することができ、インターンシップや就職活動時に自信を持って行動できるような礼儀やマナーなどを身に付ける。社会人になるための予備知識としてマナーの基礎をおさえる。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|---------|-----|
| 1. 定期試験 | 60% |
| 2. 課題 | 20% |
| 3. 平常点 | 20% |

テキスト・参考文献

CAオリジナル教材

学習に行うにあたり

- ・身だしなみを整えること。
- ・日々の生活において、率先して挨拶とお辞儀を実践すること。
- ・授業で学んだことを継続的に続けること。

企業講話Ⅰ

授業期間：1年次 4月～2月
単位・時間数：1単位・15時間
担当者：企業経営者等（実務経験者）

講義の目的および概要

札幌を代表する企業経営者が教壇に立ち、社会人として活躍するための秘訣や心構え、企業経営に関する話（成功談や失敗談）を聞き、将来に活かしてもらいます。

講義方法：

視聴覚機器等を使用した、講演会形式での授業
年5～8回程度

授業計画

学科の特性に合わせ、年度ごとに講話企業を決定

到達目標：

社会人として活躍するための秘訣や心構え、企業経営に関わる内容が、将来の仕事などに活用できること。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

S評定

テキスト・参考文献

企業により講話レジュメ有

学習に行うにあたり

- ・事前に企業研究を行うこと。
- ・日常生活において挨拶・お辞儀を実践すること。

インターンシップ

授業期間：1年次 9月～2月
（研修期間は12月の1週間）
単位・時間数：4単位・90時間
担当者：徳田 智恵子
研修先企業担当者（実務経験者）

講義の目的および概要

職業観を育成し、社会人としての基礎を実体験、習得できる場として活用し、働くことの意義、職業選択（業種・職種）時の参考、コミュニケーション能力の向上のため実施します。

講義方法：

「ワークで学ぶインターンシップリテラシー」のテキストを中心に、インターンシップとは何か、どのような心構えで参加すべきか、事前準備と実習中に注意すべきこと、終了後にすべきことについて学び、5日間の職場体験を行います。

授業計画

1. インターンシップとは
- 1.2. 心に伝えるコミュニケーション・スキル
- 1.3. 業種や職種を調べよう
- 1.4. 体験談・事例研究から学ぶ
- 1.5. 履歴書の作成
- 1.6. 社会人としての自覚とコミュニケーション
- 1.7. 事前訪問の目的と注意点
- 1.8. 実習中の注意点
- 1.9. 職場体験（インターンシップ）
- 2.0. 終了後にすべきこと

到達目標：

社会の実際を体験し、職業観の育成と職業選択の判断力を養う。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. 研修日誌 | 30% |
| 2. 提出物の完成度・期日厳守 | 20% |
| 3. 評価表 | 20% |
| 4. 事後報告・レポート | 20% |
| 5. 礼状 | 10% |

テキスト・参考文献

テキスト

「新編ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー」
（西文社）

学習に行うにあたり

- ・目的をしっかり持ち参加すること
- ・日常生活において挨拶・お辞儀を実践すること。
- ・自ら積極的にコミュニケーションをとること。
- ・ふさわしい敬語を使うこと。

体育 I

授業期間：1年次 4月～2月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：平島 仁志

講義の目的および概要

体育実技を通して、自主性・協調性と何事にも最後まで成し遂げる強い精神力を育て、又挨拶・身だしなみ・礼儀・マナーなどを身に付け社会人としての基礎を学ばせる。

講義方法：

実技を通して実施

授業計画

実技（体操・集団行動・バレーボール・バドミントン・卓球・バスケット・フットサル）

到達目標：

- 自主性・協調性を育成する。
- ・何事も最後まで主体性を持ち責任ある行動の育成
- ・スポーツのルールを通じ正しい判断力と協調性の育成。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

| | |
|-----------------|-----|
| 活動参加状況 | 20% |
| 自主性・協調性 | 30% |
| 出席状況 | 20% |
| 挨拶・礼儀・言動・規則等の遵守 | 30% |

テキスト・参考文献

なし

学習を行うにあたり

- ・健康な社会生活を送るうえでの基本的姿勢を身に付けておく。
- ・社会人としての基本的なマナー知識を身に付けておく。

経営学Ⅱ-A

授業期間：2年次 4月～6月
単位・時間数：3単位 45時間
担当者：友兼 昭（予定）

講義の目的および概要

1年次経営学Ⅰに続き、経営学やマーケティングの考え方を更に学習し、企業の方針に合わせた経営戦略、組織戦略、財務計画、マーケティング戦略等について習得する。

講義方法

テキストを中心に講義を進め、单元ごとに小テストを行い理解の定着を図る。

授業計画

1. オリエンテーション
2. 株式会社の基本的なしくみ
3. 経営の基本とは
4. 経営計画とは
5. 組織の役割とは
6. マーケティングとは
7. 会社のお金の流れ
8. 情報化と経営
9. 経営のグローバル化
10. キャッシュフロー経営
11. 企業の合併、買収
12. CS経営
13. コンプライアンス経営
14. 複雑系の経営

到達目標：

経営戦略に関する基本概念及び基本理論を理解する。
基本理論を使いこなして経営戦略の策定や分析を行うことができる。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

1. 定期試験 50%
2. 小テスト 30%
3. 出席状況・授業態度 20%

テキスト・参考文献

・図解 わかる！経営のしくみ [新版] ダイヤモンド社

学習に行うにあたり

講義内容を十分に理解するためには、日頃から新聞・インターネット等を活用し企業の経営活動や経営戦略に関心を持つことが必要である。

経営学Ⅱ-B

授業期間：2年次 7月～8月
単位・時間数：2単位 30時間
担当者：友兼 昭（予定）

講義の目的および概要

共通のテーマを用いて、市場ニーズ分析したうえで、業態フォーマットの作成、日本政策金融公庫「創業計画書」のフォーマットに準じて事業計画書の作り方を学び、計画書を作成する。

科目「経営学Ⅱ-C」、「ビジネスプラン」及びビジネスプランコンテストにつなげる。

講義方法：

経営者目線でヒト・モノ・カネ、情報に与える影響や経営として対応すべき事項を理解し、日本政策金融公庫 創業計画書のフォーマットに準じた演習を行い習得していく。

授業計画

1. 環境を分析する
2. 要件を定義する
3. 事業テーマを設定する
4. ビジネスモデルを思考する1-戦略を策定する
5. ビジネスモデルを思考する2-体制を整備する
6. 収益を試算する
7. 検証し、計画書に取りまとめる

到達目標：

手順を踏んで事業プランの骨格を組み立て、事業計画書を作成することができる。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

1. 課題提出及び内容 50%
2. プレゼンテーション 30%
3. 出席状況・授業態度 20%

テキスト・参考文献

「事業計画書」作成講座 日本実業出版社
創業の手引き 日本政策金融公庫
J-Net 21 企業創業に役立つ情報起業マニュアル

学習に行うにあたり

課題提出については、期日厳守して下さい。

限られた時間・条件の中で授業が進みます。1時間、1時間を集中して取り組んで下さい。

経営学Ⅱ－C

授業期間：2年次 9月～12月
単位・時間数：3単位・45時間
担当者：友兼 昭（予定）

講義の目的および概要

市場ニーズを分析したうえで、ビジネスプランの企画立案を行い、キャンパスベンチャーグランプリ提案用紙の記入及び日本政策金融公庫「創業計画書」のフォーマットに準じて新規事業計画書を完成させる。

キャンパスベンチャーグランプリに提案用紙を提出（参加）する

学内にて創業支援の専門家を招き、発表審査会を実施する。

中小企業の現状や課題を学び、経営支援制度及び創業支援制度について学ぶ。

講義方法：

自ら企画立案し、仮設・検証を繰り返しながら新規事業プランを作成する。途中、創業支援機関の専門家などによる指導や講話聞きながら授業を展開する。

新規事業計画書の作成に係る市場調査は「ビジネスデータ分析B」、企画立案・作成は「経営学Ⅱ－C」・「ビジネスプラン」、企画資料の制作は、「プレゼンテーション」と連動する。完成した資料をもとに、発表審査会を実施する。

*PCを使用する

授業計画

1. 環境分析
2. 要件定義
3. 事業テーマの設定
4. ビジネスモデルの思考
5. 収支計算
6. 事業計画書作成
7. 中小企業政策、創業支援制度

到達目標：

事業を立ち上げ、運営するうえで必要な知識を課題制作を通し習得する。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- 1.提出課題及び内容 50%
- 2.プレゼンテーション 30%
- 3.出席状況・授業態度 20%

テキスト・参考文献

創業計画書は日本政策金融公庫の書式を使用する。

2019年度中小企業施策ガイドブック

2019年中小企業白書

J-Net 21 企業創業に役立つ情報起業マニュアル

学習を行うにあたり

何も無い所からビジネスのアイデアをひねり出し、市場調査や各種分析を通して数字を積み上げ、事業計画書という形に落とし込む過程を大事に取り組んで下さい。

「ただなんとなく」ではなく、曖昧さを無くし。理由や根拠を持って説明できるように計画書を作成して下さい。

ビジネスプラン

授業期間：2年次 7月～12月
単位・時間数：5単位・75時間
担当者：友兼 昭（予定）

講義の目的および概要

市場ニーズを分析したうえで、ビジネスプランの企画立案を行い、キャンパスベンチャーグランプリ提案用紙の記入及び日本政策金融公庫「創業計画書」のフォーマットに準じて新規事業計画書を完成させる。

キャンパスベンチャーグランプリに提案用紙を提出（参加）する

学内にて創業支援の専門家を招き、発表審査会を実施する。

講義方法：

自ら企画立案し、仮設・検証を繰り返しながら新規事業プランを作成する。途中、創業支援機関の専門家などによる指導や講話聞きながら授業を展開する。

新規事業計画書の作成に係る市場調査は「ビジネスデータ分析B」、企画立案・作成は「経営学Ⅱ－C」・「ビジネスプラン」、企画資料の制作は、「プレゼンテーション」と連動する。完成した資料をもとに、発表審査会を実施する。

*PCを使用する

授業計画

1. 環境分析
2. 要件定義
3. 事業テーマの設定
4. ビジネスモデルの思考
5. 収支計算
6. 事業計画書作成

到達目標：

事業を立ち上げ、運営するうえで必要な知識を課題制作を通し習得する。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- 1.提出課題及び内容 50%
- 2.プレゼンテーション 30%
- 3.出席状況・授業態度 20%

テキスト・参考文献

創業計画書は日本政策金融公庫の書式を使用する。

J-Net 21 企業創業に役立つ情報起業マニュアル

学習を行うにあたり

何も無い所からビジネスのアイデアをひねり出し、市場調査や各種分析を通して数字を積み上げ、事業計画書という形に落とし込む過程を大事に取り組んで下さい。

「ただなんとなく」ではなく、曖昧さを無くし。理由や根拠を持って説明できるように計画書を作成して下さい。

プレゼンテーション-A

授業期間：2年次 4月～7月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：藤本 研一（予定）

講義の目的および概要

プレゼンテーションの目的は、単に資料を説明することではなく、最終的に相手にアクションを起こさせることである。新規ビジネスの決済やリーダーとしての評価、その後のキャリアまでがプレゼンで決まると言っても過言ではない。コミュニケーションを取りながら、最終的には意図することが提案できるプレゼンテーション技法を習得する。

講義方法：

ワークショップ（導入、演習、振り返り）を中心に自分の考えや意見を発表し、コミュニケーションへの気付き、スキルアップのための練習を繰り返して行います。

授業計画

1. プレゼンテーションの目的と緊張のメカニズム
2. ラポール（共感づくり）
3. NLP（神経言語プログラミング）について
4. 傾聴練習
5. 説得（プリフレーム リフレーミング）
6. 情報整理と論理的な説明
7. ピッチについて
8. プレゼンテーションの実施

到達目標：

聞き手が欲しい情報を提供するための、分析、メッセージ構築、スライド構成、伝え方の工夫ができ、建設的な議論を促す質疑応答ができるプレゼンテーション技法を習得する。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

1. 課題提出とプレゼンテーション 50%
2. 授業内プリント 30%
3. 出席状況と授業態度 20%

テキスト

講師独自の資料をパワーポイントのスライドを使って行う。スライド資料をテキストとして配布

参考文献

「世界最高のリーダー育成機関で幹部候補生だけに教えられているプレゼンの基本」田口力(著)KADOKAWA
学習に行うにあたり

・発想、思考力を養いたいため WEB に頼りすぎないようにしてほしい。

プレゼンテーション-B

授業期間：2年次 9月～12月

単位・時間数：2単位・30時間

担当者：友兼 昭（予定）

講義の目的および概要

パワーポイントを用いたプレゼンテーション資料の作成やグラフィックスの基本について説明する。さらにコンピュータグラフィックスを使用し、センスのよいプレゼン資料作成を学ぶ

講義方法：

経営学Ⅱやビジネスプランで計画した企画案をプレゼン資料としてまとめ、プレゼンする。

授業計画

1. プレゼン資料の制作（配布資料）
読みやすい資料づくり
フォント、画像、グラフ配置について
2. プレゼン画面の制作（パワーポイント）
視覚に訴える画面構成について
色彩計画
画像処理
グラフ
アニメーション
動画・音楽挿入
3. プレゼンテーションの実施

到達目標：

パワーポイントを用いて、独自に調べた研究・調査を他人に分かりやすく発表できるようになること。

オリジナルのグラフィックスを作成できるようになること。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

1. 提出課題とプレゼンテーション 50%
2. 授業内レポート 30%
3. 出席状況・授業態度 20%

テキスト

講師独自の資料をパワーポイントのスライドを使って行う。スライド資料をテキストとして配布

参考文献

学習に行うにあたり

ピッチコンテストやビジネスコンテスト、TED などのプレゼン動画を参考にしてほしい。

金融資産管理

授業期間：2年次 4月～12月

単位・時間数：6単位・90時間

担当者：中谷 俊雄（実務経験者）（予定）

（職務内容）

FP事務所にてFP技能士として各種相談業務並びに検定受験講座を開講（17年間）

（指導内容）

ファイナンシャル・プランナー技能士の検定を目指す科目において、テキストで覚えた知識だけでなく「実務で使える知識」になるよう指導する。

横井 規子（実務経験者）（予定）

（職務内容）

FP事務所にてファイナンシャルプランニング業務に従事、家計相談や行政から依頼され、学生の修学支援相談業務に従事（12年間）

（指導内容）

ファイナンシャル・プランナー技能士の資格取得に向け、試験科目について指導するほか、自立に向けてライフプランやお金に関する知識が身に付くよう指導する。

講義の目的および概要、

社会保険、資産形成、保険、税金、不動産などの基礎を学び、長期的かつ総合的な視点で自分や顧客のライフプラン・マネープランについて考えられる技能を身に付けます。

講義方法：

前期前半は日本FP協会発行「学生生活マネー&キャリアお役立ちハンドブック！」を元に、お金との付き合い方や、ライフプランの立て方、キャッシュフロー表の作成について学んでいきます。今後10年間のライフイベントを立て、キャッシュフロー表上で色々な可能性を試していきます。

前期後半と後期は講義形式で「FPの学校3級きほんテキスト」のテキストと問題集を中心に、ファイナンシャル・プランニング技能検定3級に必要な知識を習得します。小テスト等で習熟度を高め、資格取得に向けた力をつけます。

授業計画

1. オリエンテーリング
2. 消費者トラブル
3. 将来のお金について考えてみる
4. 自分のキャッシュフロー表作成
5. ライフプランニングと資金計画
6. リスク管理
7. 金融資産運用
8. タックスプランニング
9. 不動産
10. 相続・事業継承

到達目標：

10年先の自分のライフプラン・マネープランを考えることができるようになることと、国家資格のファイナンシャル・プランニング技能検定3級を取得すること。

目標検定・受験時期

ファイナンシャル・プランニング技能検定3級
(2021年1月24日(日)午前・午後)

試験・成績評価：

<前期>

- ・キャッシュフロー表作成・完成 60%
- ・小テスト 20%
- ・授業態度・出席状況 20%

<後期>

- ・定期試験 50%
- ・小テスト 30%
- ・授業態度・出席状況 20%

テキスト・参考文献

<テキスト>

- 「学生生活マネー&キャリアお役立ちハンドブック！」
- 「全国銀行協会シリーズ教材お金のキホン動画」
- 「FPの学校3級きほんのテキスト」(ユーキャン)

「FPの学校3級これだけ!問題集」(ユーキャン)

学習に行うにあたり

- ・ほぼ毎回小テストがあるので授業内容の復習として活用し、提出をすること。
- ・日々の生活の中で、授業で学んでいることに関係していることを探しながら生活をしてみましょう。
- ・自分自身のライフイベント・キャッシュフロー表を作成し、夢や目標を実現するにはどうしたら良いか考えていきましょう

時事経済Ⅱ

授業期間：2年次 4月～8月
単位・時間数：1単位・15時間
担当者：日下部 憲和（予定）

講義の目的および概要

新聞記事やインターネットの情報をリアルタイムな教材として扱い、現代社会の諸問題を徹底的に分析・検証する。自ら情報を集め、自分の頭で日本経済の現状（景気動向）を考えられるようになることを目的とする。また、札幌商工会議所のセミナー、イベントに参加し地域の経済活動について理解する。

講義方法：

テーマを設定した、グループディスカッションや、レポート提出プレゼンによる発表を通し、現代社会が抱えている問題点について正しく理解することができ、自分の意見をきちんとプレゼンできる技術を習得する。

授業計画

1. ガイダンス（新聞の読み方）
2. 社会面の分析
3. 経済面の分析
4. 文化面の分析
5. 社説の分析
6. コラムの分析
7. メディアによる違い
8. 札幌商工会議所との連携授業

到達目標：

読解力・分析力・プレゼン発信力・そして論述力の技法をマスターする。

目標検定・受験時期

成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 70% |
| 2. 課題 | 10% |
| 3. 授業態度・出席状況 | 20% |

テキスト・参考文献

北海道新聞 日本経済新聞 他

学習に行うにあたり

日頃より、新聞やニュースを読む習慣をつけ必要な情報収集を行うこと。積極的にイベントやセミナーに参加して見聞を広めること。

ビジネスデータ分析A

授業期間：2年次 4月～8月
単位・時間数：3単位・45単位
担当者：友兼 昭（予定）

講義の目的および概要

「統計を使うと何が分かるのか」、また「統計を使って、その結果をどう伝えるか」というデータ分析の目的・本質を理解する。

講義方法：

テキストを中心に経済分析に必要な情報を入手経路の提示と、授業ごとの分析課題を Word ,Excel ,PowerPoint で情報処理、加工していく演習を行う。

授業計画

1. 新しい「統計のイメージ」に出会う
2. 物語作りのワークにチャレンジ
3. 新しい「統計の学び方」
4. データを物語る「統計」
「物語」と「統計」のカンケイ
「物語」と「統計」のストーリー
「物語」と「統計」のプロセス
5. テーマを決める ～目的の明確化～
6. 必要なデータを集める
7. プランニング ～仮説から分析の見通し～
8. クライマックス ～データの分析と考察～
9. アウトラインとレポート

到達目標

分析に必要な情報を収集し、分析活用するためのノウハウを習得する。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|-------------|-----|
| 1 定期試験 | 50% |
| 2.授業内レポート | 30% |
| 3.出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト

活用事例でわかる!統計リテラシー ～数学が苦手でも大丈夫!～ NOA出版

学習に行うにあたり

ビジネスデータ分析B

授業期間：2年次 9月～12月
単位・時間数：2単位・30単位
担当者：友兼 昭（予定）

講義の目的および概要

ビジネスプランを企画立案する上で必要なデータ収集、分析を行う。データから導き出された事柄をプランに落とし込む一連の過程を演習する。

講義方法：

経済分析に必要な情報を入手経路の提示と、授業ごとの分析課題をWord,Excel,PowerPointで情報処理、加工していく演習を行う。

授業計画

1. ガイダンス 情報の種類について
2. 市場性に関する調査、分析
3. 収益性に関する調査、分析
4. 実現性に関する調査、分析
5. その他調査、分析

到達目標

自らビジネスプランを企画立案する上での課題を見つけ出し、仮説を立て、データや調査によって検証を行いながらビジネスプランを作成することができる。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

1. 成果物の提出と内容 80%
2. 出席状況・授業態度 20%

テキスト

参考文献

J-Net 21 企業創業に役立つ情報起業マニュアル

学習に行うにあたり

情報デザイン - A

授業期間：2年次 4月～6月
単位・時間数：3単位・45時間
担当者：汐川 春希（予定）

講義の目的および概要

ビジネスプランの資料制作や、販促物の制作のために必要なCGスキルの習得。主にAdobe Illustrator・Adobe Photoshopの操作を中心に、DTP（印刷）やWebの制作に必要な知識を確認しながら、実践的なデザイン演習を行う。

講義方法：

グラフィックソフトの基本操作レクチャーと演習課題の制作

授業計画

1. デザインをはじめる前に
2. レイアウトの基本ルール
3. 写真と画像
4. 配色の基本
5. 文字と書体
6. 文章のデザイン
7. インフォグラフィック
6. 実践演習
7. 印刷入稿データについて
8. ポスター制作（5回）イベント告知ポスター
9. ビジネスプランのための販促物制作（15回）

到達目標：

グラフィックソフトを使用した実習により、デジタルデザインワークの基礎知識・応用力を習得し販売資料として活用できる。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

1. 提出課題とプレゼンテーション 80%
2. 出席状況・授業態度 20%

テキスト

デザイン入門教室[特別講義] 確かな力を身に付けられる学び、考え、作る授業 ソフトバンククリエイティブ

学習に行うにあたり

- ・授業時間の前半で操作についてのレクチャーを行うため、遅刻欠席すると演習課題を行うことが困難となる。課題を実践することで技術習得となるため、遅刻欠席の無いように受講すること。

情報デザイン - B

授業期間：2年次 6月～12月
単位・時間数：4単位・60時間
担当者：汐川 春希（予定）

講義の目的および概要

Dreamweaver の基本操作を習得しながら、web ページをデザインする際に必要なプログラムの XHTML（web ページの構造）と CSS（web ページの見た目の指定）を理解し web ページを完成させる。

講義方法：

Dreamweaver、Illustrator、Photoshop を使用し Web サイトを制作するための基本操作レクチャーと演習課題の制作。

授業計画

1. ガイダンス
2. サイト構築
3. web ページの制作
4. HTML タグの編集
5. 表と画像の挿入
6. リンク設定
7. CSS レイアウト
8. ロールオーバーイメージ
9. ファイル管理
10. ホームページの作成（10回）

到達目標：

web ページ制作やの基本操作を習得し、静的なホームページから動的なホームページへ改良をすることができるようになる。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|------------------|-----|
| 1.提出課題とプレゼンテーション | 80% |
| 2.出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト・参考文献

テキスト 講師独自の資料を準備

参考文献

これからはじめる Dreamweaver の本 技術評論社
確かな力が身につく JavaScript「超」入門 SBクリエイティブ

学習を行うにあたり

授業時間の前半で操作についてのレクチャーを行うため、遅刻欠席すると演習課題を行うことが困難となる。課題を実践することで技術習得となるため、遅刻欠席の無いように受講すること。

上級オフィスソフト演習Ⅱ-A

授業期間：2年次 4月～9月
単位・時間数：5単位・75時間
担当者：近藤 直美（予定）（実務経験者）

（職務内容）

社内のパソコンの設置及び教育を担当（3年間）
アプリケーションソフトを活用したシステム開発と営業のサポート業務に従事（3年間）

（指導内容）

オフィスソフト演習を通じて、各種ソフトウェアの基本的な活用技術とワープロ、エクセル、データベース検定の取得を目標とする科目を指導する。

講義の目的および概要：

実社会においてコンピュータは必要不可欠なツールの一つです。データベース（Access）の機能と操作方法を身につけ、資格取得に役立てます。

講義方法：

データベースの機能と操作方法をテキスト中心に習得し、練習問題を反復練習することで知識を確かなものにします。

授業計画

1. データベースの基礎知識
2. アクセスのファイル操作
3. テーブルの作成
4. クエリの作成
5. 演算と集計クエリの作成
6. フィルタを使った検索とソート
7. データの検索と置換
8. フォームの作成
9. レポートの作成
10. 2級検定試験対策演習

到達目標：

Access の基本操作ができ、サーティファイ データベース検定2級の取得を目指します。

目標検定・受験時期

サーティファイ データベース検定3級 6月
サーティファイ データベース検定2級 9月

試験・成績評価法

- | | |
|-------------|-----|
| 1.定期試験・検定試験 | 50% |
| 2.授業内テスト | 30% |
| 3.出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト・参考文献

テキスト

「アクセスの基礎&応用」（CAオリジナル教材）

参考文献

「データベース検定1級～3級問題集」（サーティファイ）

学習を行うにあたり

- ・授業でわからないことをそのままにしないこと。
- ・予習よりも復習を行い、知識を確かなものにする
- と。
- ・欠席した授業の課題を提出すること。

上級オフィスソフト演習Ⅱ-B

授業期間：2年次 10月～12月

単位・時間数：2単位・30時間

担当者：近藤 直美（実務経験者）（予定）

（職務内容）

社内のパソコンの設置及び教育を担当（3年間）
アプリケーションソフトを活用したシステム開発と営業のサポート業務に従事（3年間）

（指導内容）

オフィスソフト演習を通じて、各種ソフトウェアの基本的な活用技術とワープロ、エクセル、データベース検定の取得を目標とする科目を指導する。

講義の目的および概要

データベースの応用機能についての知識と技術を身に付け、資格取得に役立てる。

講義方法：

データベースの機能や編集について、テキストを中心に学び、実習を通して高度な活用技術を身につけて使用できる能力を付けます。

授業計画

1. リレーションシップの作成
2. アクションクエリの作成
3. マクロの作成
4. 関数の使用
5. 1級検定問題対策演習

到達目標：

データベースの機能や編集について、高度な活用技術を身に付けて、サーティファイ データベース1級の取得を目指す。

目標検定・受験時期

サーティファイ データベース検定1級・11月

受験時期を確認する！

試験・成績評価法

- | | |
|---------------|-----|
| 1. 定期試験及び検定試験 | 50% |
| 2. 提出物及び小テスト | 30% |
| 3. 出席状況・授業態度 | 20% |

テキスト・参考文献

テキスト

「データベース基礎&応用」（CAオリジナル教材）

参考文献

「データベース検定1級～3級問題集」（サーティファイ）

学習を行うにあたり

- ・授業でわからないことをそのままにしないこと。
- 予習よりも復習を行い、知識を確かなものにする。
- 欠席した授業の課題を提出すること。

接遇講座

授業期間：2年次 4月～12月

単位・時間数：2単位・30時間

担当者：江口 ちひろ（実務経験者）

（職務内容）

企業や病院で働く方達へマナーやコミュニケーションについての研修に従事（12年間）

（指導内容）

接遇やコミュニケーションのワークを通じて、社会人になるための必要な基本のマナーを指導する。

講義の目的および概要

基本のビジネスマナーを学び、職場や社会でのコミュニケーションを円滑にするための実践的なマナーを身につけることで、信頼される社会人となることを目指します。

講義方法：

オリジナルの基本マナーテキストを毎回配布し、座学・ロールプレイングを混ぜながらビジネスマナーの基本を学びます。

授業計画

1. オリエンテーション
2. 挨拶・相槌・クッション言葉
会話のキャッチボールとは
3. 敬語の基本 尊敬語・謙譲語・丁寧語
4. 訪問・来客対応での言葉遣い
5. 上司や先輩との会話
6. 聞くことの難しさ・話の組み立て方
7. 話の無駄を省く・助詞・熟語
8. 音声技術 発声と発音 ポーズ プロミネンス
9. 苦情対応の基本
10. 苦情対応の応用
12. ロールプレイング
13. ロールプレイング

到達目標：

- ① 敬語の規則性を理解し、場面にあった敬語の正しい使い方を修得することができる。
- ② プラスアルファの声かけや過不足ない洗練された表現方法、クレーム対応の基本を修得する。
- ③ 声の高さ、大きさ、明るさ、滑舌、間のとり方などの表現トレーニングを重ね、聞き取りやすい話し方を修得することができる。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価法

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 60% |
| 2. 課題 | 20% |
| 3. 授業態度・出席状況 | 20% |

テキスト・参考文献

CAオリジナル教材

学習を行うにあたり

グループワークが多いため、メンバー同士のコミュニケーションに努めてください

文書処理概論

授業期間：2年次 4月～12月

単位・時間数：2単位・30時間

担当者：笹森 由美子（予定）

講義の目的および概要

ビジネス文書を中心とした実務能力を育成する。また、文書の取扱いや保管方法などの基本的な知識として理解を深める。

講義方法：

座学にてテキストを中心に学ぶ。また、パソコンを使用して各種文書の課題を作成していく。

授業計画

1. ビジネス文書の役割・種類
2. 効率よく伝わる文書をつくる（簡潔・明快・正確）
 - I. 標記技能（用字、用語、書式について）
 - II. 表現技能（正確な文章、わかりやすい文章、礼儀正しい文章について）
3. 社内文書の作成（部署内連絡、上司へ報告などを伝える文書、帳票など）
4. 演習①（報告書、回覧文、案内文、議事録など）
5. 社外文書の作成（取引上の文書、社交や儀礼のための文書など）
6. 演習①（通知書、依頼書、挨拶状、案内状など）
7. ビジネスメールの基本知識
（メールのマナー、社内と社外メールの違いなど）
8. 文書の取扱い（発信方法、保管方法、ファイル管理など）
9. 演習①新聞を読み、内容を短く纏める
10. 演習②読んだ内容を自分の言葉で置き換える

到達目標：

ビジネス文書作成に必要な基礎的な知識や技能を身に付ける。簡潔で説得力ある文書を作成することが出来る。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 定期試験 | 60% |
| 2. 課題 | 20% |
| 3. 授業態度・出席状況 | 20% |

テキスト・参考文献

できる！ビジネス文書のつくり方が身につく本
（高橋書店）

学習に行うにあたり

1. 日頃から新聞などを読み、ビジネス社会全般に関心をもつこと。
2. 座学と実技を関連付けてとらえること。
3. 課題を期限までに提出すること。

コミュニケーション

授業期間：2年次 4月～12月
単位・時間数：4単位・60時間
担当者：Milaine Celine LAMY（予定）

講義の目的および概要

グローバル経済にとって外国語は必要不可欠なものになっている。ビジネスに必要な日常英語の表現や使い方を学ぶ。

講義方法：

英語能力を高めるためプリントで文法の基礎を学び、コミュニケーションができるための英会話テキストやドリル・ロールプレイ・ゲームなどを行う。

授業計画

1. ガイダンス・自己紹介
2. 英会話に必要な文法
3. 日常生活の英会話
4. 販売に必要な英会話
5. 飲食業に必要な英会話
6. 宿泊業に必要な英会話
7. 交通サービスに必要な英会話
8. ロールプレイング

到達目標：

簡単なフレーズで表現する英語力を習得する。状況や意図を理解し、必要なサービスを行える基本的なおもてなし英語力をつける。

目標検定・受験時期：

試験・成績評価：

1. 定期テスト……………80%
2. レポート・課題……………20%

テキスト

企業講話Ⅱ

授業期間：2年次 4月～12月
単位・時間数：1単位・15時間
担当者：企業経営者等（実務経験者）

講義の目的および概要

札幌を代表する企業経営者が教壇に立ち、社会人として活躍するための秘訣や心構え、企業経営に関する話（成功談や失敗談）を聞き、将来に活かしてもらいます。

講義方法：

視聴覚機器等を使用した、講演会形式での授業
年5～8回程度

授業計画

学科の特性に合わせ、年度ごとに講話企業を決定

到達目標：

社会人として活躍するための秘訣や心構え、企業経営に関わる内容が、将来の仕事などに活用できること。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

S評価

テキスト・参考文献

企業により講話レジュメ有

学習に行うにあたり

- ・事前に企業研究を行うこと。
- ・日常生活において挨拶・お辞儀を実践すること。

就職指導

授業期間：2年次 4月～8月
単位・時間数：1単位・15時間
担当者：徳田 智恵子（予定）

講義の目的および概要

求人に関わる情報の提供、履歴書などの応募書類の作成・添削、個人面談などにより就職活動を活性化させます。

講義方法：

就職活動に対する全体指導及び個別指導を行います。

授業計画

1. 求人情報の提供
2. 企業研究
3. 応募書類の作成・添削
4. 個別面談指導

到達目標：

自ら考えて積極的に就職活動を行い、希望する企業から就職内定を得ること。

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

S評定

テキスト・参考文献

テキスト

「就職活動ガイドブック」（CAオリジナル教材）

学習に行うにあたり

- ・入学時から就職に対する意識を持ち、学校生活を送ること。
- ・学校求人やインターネットの就職サイトを活用して、企業研究を行うこと。
- ・日常生活において挨拶・お辞儀を実践すること。

体育Ⅱ

授業期間：2年次4月～12月
単位・時間数：2単位・30時間
担当者：平島 仁志（予定）

講義の目的および概要

体育実技を行うことで、自主性・協調性や何事も最後までやり遂げる強い気持ちを育てる。なお、挨拶、身だしなみ、礼儀、マナーを身につけることで、社会人としての基本を育てることができる。

講義方法：

実技を通して実施

授業計画

実技（卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、フットサル）

到達目標：

- ・自主性・協調性を育成する。
- ・何事も最後までやり遂げる強い気持ちを持つ人物の育成
- ・挨拶、身だしなみ、礼儀、マナー、言動、規則の遵守などの育成

目標検定・受験時期

なし

試験・成績評価：

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 活動参加状況 | 20% |
| 2. 自主性・協調性 | 30% |
| 3. 出席状況 | 20% |
| 4. 挨拶・礼儀・言動・規則等の遵守 | 30% |

テキスト・参考文献

なし

学習に行うにあたり

- ・自主性・協調性、道徳心、礼儀、マナー規則の遵守など社会人としての基本的知識を身につけておく。
- ・健康な社会生活を送るうえでの基本的姿勢を身に付けておく。